

農業革新支援センター情報

要件	ホームページ掲載	書庫掲載		部門	作物		
緊急	○一般	○可	不可	○農家可	農家不可	病虫害	土地利用

情報第281号

令和8年（2026年）4月10日

各広域本部農林（水産）部 農業普及・振興課長
 各広域本部地域振興局農林部 農業普及・振興課長
 農林水産部農産園芸課長
 農業研究センター・各研究所長
 各市町村長
 熊本県経済農業協同組合連合会長
 各地域農業協同組合組合長

} 様

課題名	麦類赤かび病の適期防除について	担当者	熊本県農業技術課 農業革新支援センター 児玉・松原 TEL096-333-2429
-----	-----------------	-----	--

県内の大麦及び小麦は、3月下旬以降に出穂期を迎えています。しかし、令和8年4月7日付けで病虫害防除所から発出された「麦類赤かび病の防除対策（技術情報第1号）」のとおり、赤かび病菌の胞子が飛散しやすい気象条件が整っていると想定されています。

さらに、今後1週間程度は、以下のとおり、天気が周期的に変化することが予想され、麦類の赤かび病が発生しやすい気象条件が継続すると考えられます。

○今後1週間の天気予報（熊本県）

熊本県の天気予報（7日先まで）									
2026年04月09日13時 熊本地方気象台 発表									
日付	今日 09日(木)	明日 10日(金)	明後日 11日(土)	12日(日)	13日(月)	14日(火)	15日(水)	16日(木)	
熊本県	雨 	雨 	晴時々曇 	曇 	曇一時雨 	曇一時雨 	曇 	曇時々晴 	
降水確率(%)	-/-/50/60	90/90/80/30	10	40	70	60	40	30	
信頼度	-	-	-	C	A	B	B	B	
熊本 気温 (℃)	最高	20	22	23 (22~26)	25 (23~27)	22 (21~24)	23 (21~26)	26 (22~29)	25 (22~28)
	最低	-	20	14 (12~15)	11 (9~13)	13 (11~15)	16 (14~18)	15 (12~18)	14 (11~17)

※気象庁「熊本県の天気予報（7日先まで）」(<https://www.jma.go.jp/bousai>)
を加工して作成

麦類の赤かび病が多発すると、かびに覆われた被害粒が生じ、被害粒には、人畜に有害な「デオキシニバレノール等のかび毒」が含まれています。したがって、麦栽培では赤かび病の発生を抑制するための適切な防除が必要です。

つきましては、麦類の赤かび病については、下記の防除ポイントを参考に、天候の変化を見ながら、できる限り適期に防除が実施されるよう、御指導をよろしく申し上げます。

記

1. 赤かび病の主な感染時期は、大麦では葎殻抽出期、小麦では開花期（いずれも穎花が開くことで菌が侵入しやすくなる時期）である。
2. 感染時期に、曇天や降雨が続き、気温が20～27℃位の比較的高温になると菌の孢子形成や飛散が助長され、多発しやすい。
3. 赤かび病の防除は、二条大麦では葎殻抽出期（穂揃いから10日後）とその1週間後、小麦では開花期盛期（出穂から1週間後）、そしてその後7～10日後の各2回実施する。
4. 悪天候等で適期に防除ができなかった場合は、可能な限り早く薬剤散布を行う。
なお、薬剤の使用にあたっては、ラベルをよく確認する。



*熊本県農業情報サイト「アグリくまもと」のメルマガ登録することで、農業革新支援センター情報を迅速に受け取ることができます。

【登録用アドレス】 <https://agri-kumamoto.jp/>

登録用
QRコード→

